

史学委員会国際歴史学会議等分科会

(第25期・第3回)

議事要旨

日時：2022年12月4日（日）13:00～15:10

場所：オンライン開催

出席者：栗田禎子、浅田進史、飯島渉、石居人也、小田中直樹、小関隆、
中野聡、松方冬子、吉澤誠一郎

<議事>

(1) 前回議事要旨の確認

確認された。

(2) 国際歴史学会議に関する件

吉澤委員より、2022年8月にポーランド共和国ポズナンで第23回大会が開催された点、また今年は投票を伴う総会は無かった点について報告があった。

国際歴史学会議は2024年の総会を東京で開くことになっており、それに伴って日本国内委員会は学術シンポジウムを計画している。その企画・立案には、主に浅田委員、小関委員、松方委員、吉澤委員があたり、随時、本分科会と相談しつつ準備を進めていくこととした。

(3) 日韓歴史家会議に関する件

小田中委員及び飯島委員から、2022年11月に日韓歴史家会議が開催されたことについて報告があった。今回は東京で開催し、対面とオンラインの併用の形式をとった。この会議も新型コロナウイルス流行の影響を受けてきたが、今回は韓国側から実際に東京に渡航して報告することが可能となったという意義があった。来年は韓国で開催される予定となっている。

(4) 公開シンポジウムの企画について

歴史学の「国際化」をテーマとした公開シンポジウムを今期に開催するため準備を進めることにした。「国際化」がそもそも何を意味するのか、また日本の歴史学が必要としている課題とは本当は何なのかについて、議論を整理し問題提起をすることを目的としている。

(5) その他
特になし